

施策事例 ① 住民参画・NPO・ボランティア関連施策

まちづくり支援システムを活用したまちづくりの推進

自治体情報

千葉県千葉市

人口 / 937,146人

標準財政規模 / 204,299百万円

担当課 若葉区地域振興課地域づくり支援室

電話番号 直通 043-233-8123

実施主体 千葉市

関連ホームページ <http://www.wakaba-chiba.mypl.net/wakabaku/#02>

事業期間 平成23年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：6,850千円

名称	所管	金額(千円)
地域支え合い体制づくり事業補助金	千葉県	5,000
一般財源	-	1,850

施策のポイント

町丁ごとの人口、高齢化率、要介護者概数等の推計結果を、Web上でグラフ等を用いて誰でも分かりやすく見られるようにし、住民が地区の課題を見出し、主体となって活動できるよう支援していく取組みは、他都市には例を見ない、千葉市独自の取組みである。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

若葉区は、千葉市の6つの行政区の中で最も高齢化が進んでおり、日常生活における支援などに係る地域での支え合いの取組みの充実が特に必要な地域であることから「共助」の機能を高めることを目的にこの事業に取り組んだ。

2. 取組の具体的内容

10、20年後に、自分たちが暮らす地区の人口構成などが実際にどのように変遷するかを分かりやすく見ることができるよう、若葉区の町丁ごとの人口、高齢化率、要介護者概数等の経年変化を推計する「まちづくり支援システム」を東京情報大学と協働で構築した。また、民間事業者と協働し、操作性やビジュアル性に配慮したホームページをWeb上で公開することにより、誰もが簡単に情報を入手・活用できるシステムとした。(地域情報ポータルサイト「まいふれ」内で公開<http://wakaba-chiba.mypl.net/wakabaku/#02>)

さらに、このシステムを活用して、地区別に「支え合い活動等の説明会」を実施し、データから浮かび上がる地域課題を明らかにすることで、住民のまちづくりへの参加意識を高め、支え合い活動等の立ち上げを支援し、区民主体のまちづくりに取り組んでいる。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

区民が主体となった地域活動(支え合い活動等)を促進することにより、行政の限られた財源の中でも継続的な取組みを可能にするとともに、地域のつながりの強化が図られることなどの効果を想定。数値目標：支え合い活動組織結成数 年間20団体

4. 現在までの実績・成果

(1) 支え合い活動等組織数

10団体(H24.3)⇒27団体(H24.9現在 取組み予定含む)

(2) 支え合い活動等に新たに取り組んだ団体・事例

①若松台3丁目自治会「地域支え合い事業」(買い物同行、庭木の手入れ、電気器具の修復等)

②野呂団地自治会「災害時相互協力事業」

(地元住民と身体障害者施設における支え合いによる災害時避難体制の確立等)

③千葉市社会福祉協議会小倉地区部会「たすけあい事業」(買い物代行、ごみ出し、薬の受取り)

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

人口ピラミッドなどを用いて将来の地区の状況や支え合いの必要性をより効果的に示すとともに、支え合い活動を立ち上げる際の参考となるように、好事例を動画にしてWeb上に掲載した。また、普段あまりWebを見ない高齢者等にも配慮し、積極的に町内自治会等に向いて説明会を実施し、成果を挙げている。

6. 今後の課題と展開

まちづくり支援システムについては、支え合い活動の推進だけでなく、地域の活性化に寄与できるようにシステムを改良していく。また、「高齢者の支え合い活動説明会」の継続的な実施などにより、最終目標として、平成33年度に若葉区の全ての町内自治会(202)における支え合い組織の結成を目指すこととし、区民をはじめ、NPO団体、大学、行政等ともまちづくりの目的を共有し、引き続き連携を図りながら支え合い活動が進められるよう支援していく。